

レセ電通信調 2020009 号
令和 2 年 5 月 7 日

レセプト電算処理調剤システム関係メーカー等 各位

支払基金システム部
国保中央会医療保険部

オンライン請求システムにおける受付・事務点検
ASPチェックの変更等について

オンライン請求システムにおける受付・事務点検ASPチェックのうち「L4800」及び「L4411」について、令和2年5月請求分からチェックの取り扱いを下記のとおりとしますので、ご留意願います。

記

1 日付項目の記録方法の変更に伴う「L4800」の新設について

令和2年4月調剤報酬改定に伴う記録条件仕様の変更により、日付項目の記録方法が「和暦」から「西暦」へと変更になりました。このことより、当該項目の記録を「和暦」で記録すると、「L4800：該当する項目が和暦で記録された。」となり、西暦変換総箇所数を受付・事務点検ASP結果リスト等に表示しますので、今後の請求ではご注意ください。（国保は令和2年8月審査から実施予定）

2 「L4411」チェックの取り扱いについて

令和2年3月27日付け厚生労働省通知保医発 0327 第1号「「診療報酬請求書等の記載要領等について」等の一部改正について」において、別表Iの「レセプト電算処理システム用コード」欄のコード（以下「選択式コメント」という。）については、令和2年10月調剤分以降、該当する選択式コメントを選択して請求することとされたところです。

このことから、令和2年4月調剤分からチェックを予定していた選択式コメントの記録の有無に係る「L4411」チェックにつきましては、同年4月調剤分から同年9月調剤分までは実施しないこととします。